



JA

AV レシーバー

RX-V581/RX-V481

かんたん設置ガイド

RX-V581/V481
JManual Development Department
© 2016 Yamaha Corporation

2016年2月発行 KS-A0

Printed in Malaysia

ZT78850

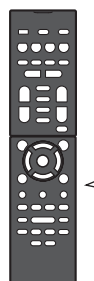
- ご使用の前に「取扱説明書」の「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 本書では、基本的なスピーカーシステムを設置して、本機でBD/DVDのサラウンド音を再生するまでの手順を案内しています。説明にはRX-V581のイラストを使っています。「RX-V581のみ」のように機種が明記されていない内容は、RX-V481も共通です。詳しい説明は、別冊の「取扱説明書」をご覧ください。
- 本書と「取扱説明書」のPDF版を以下のウェブサイトからダウンロードできます。
<http://download.yamaha.com/jp/>

AV SETUP GUIDE

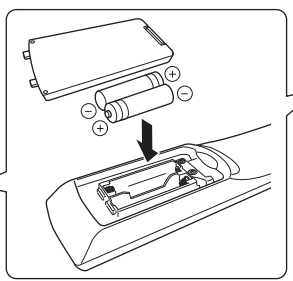


「AV SETUP GUIDE」はAVレシーバーとテレビ、プレーヤーなどの再生機器との接続、スピーカーとの接続をわかりやすくガイドするアプリです。詳しくは、App StoreまたはGoogle Playで「AV SETUP GUIDE」を検索してください。

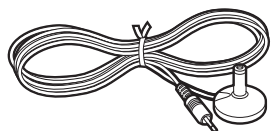
1 本書で使う付属品



リモコン



単4乾電池 (2本)

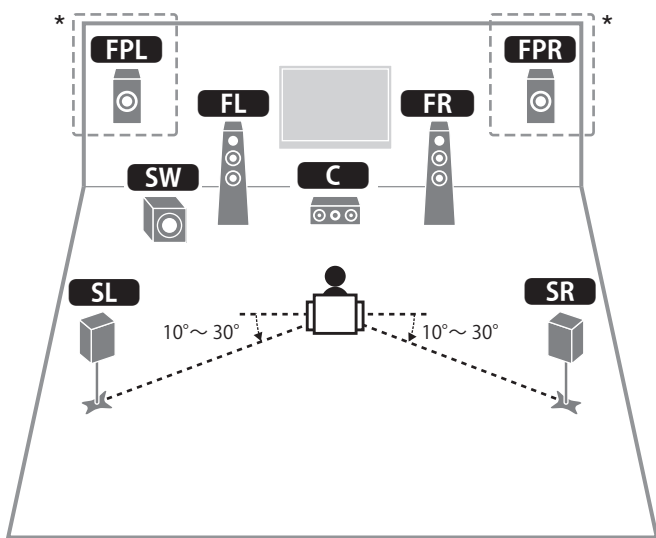


YPAO用マイク

本書の説明どおりに接続する場合、以下のケーブルを別途ご用意ください。

- スピーカーケーブル (スピーカーの本数分)
- モノラルピンケーブル (1本)
- HDMIケーブル (3本)
- ネットワークケーブル (1本) (ルーターと有線接続する場合)

2 スピーカーを配置する



図を参考にスピーカーを配置してください。

- **FL** フロントスピーカー (左)
- **FR** フロントスピーカー (右)
- **C** センタースピーカー
- **SL** サラウンドスピーカー (左)
- **SR** サラウンドスピーカー (右)
- **FPL** フロントプレゼンススピーカー (左)*
- **FPR** フロントプレゼンススピーカー (右)*
- **SW** サブウーファー

* RX-V581 のみ

3 スピーカー/サブウーファーを接続する

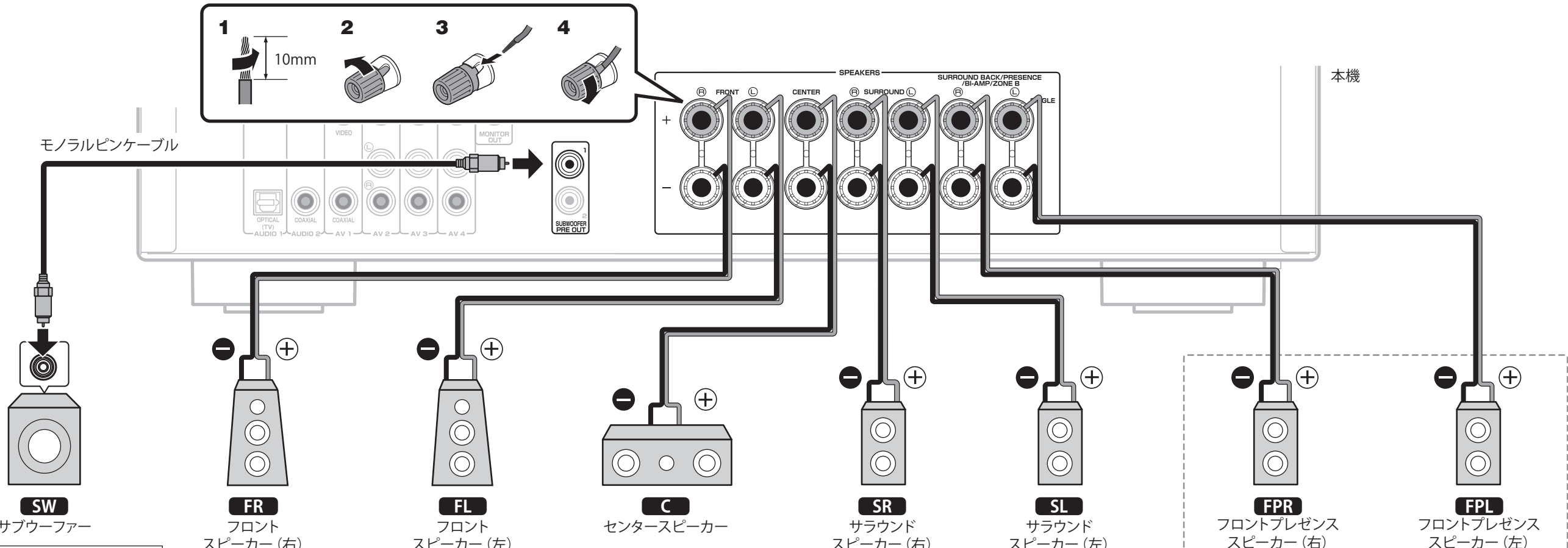
スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから外してください。また、サブウーファーの電源を切ってください。

・スピーカーケーブル接続のご注意

正しくない方法で接続すると、スピーカーケーブルがショートし、本機やスピーカーが故障する原因となります。

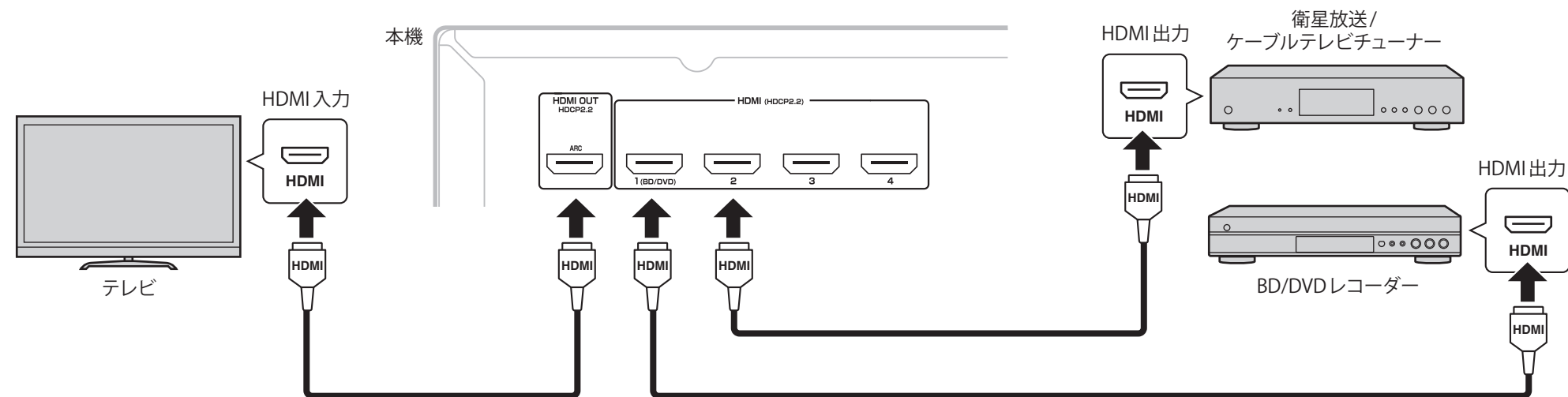
- 芯線の先端をしっかりとよじる
- 芯線どうしを接触させない
- 芯線を本機の金属部 (背面のパネル、ネジ) に接触させない

電源を入れて前面ディスプレイに「Check SP Wires」と表示された場合は、電源を切り、スピーカーケーブルがショートしていないか確認してください。



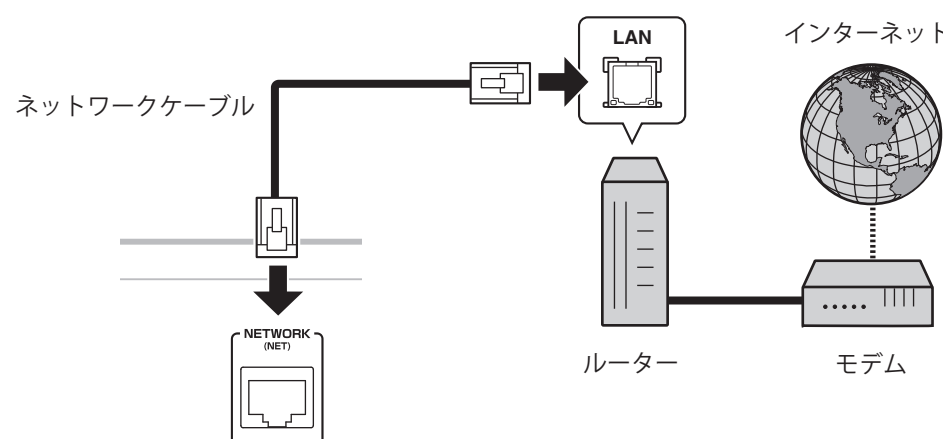
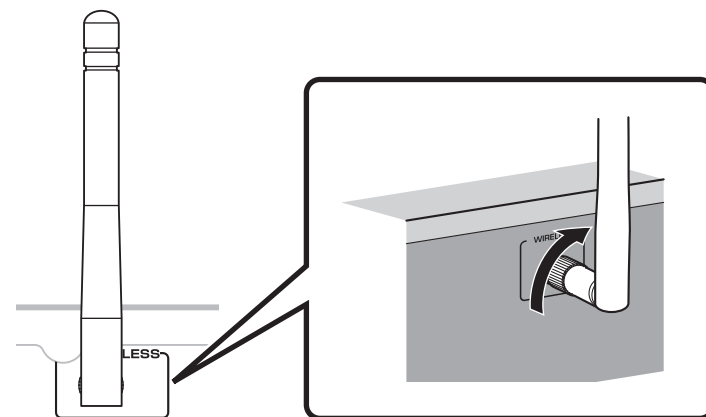
RX-V581 のみ

4 外部機器を接続する



5 ネットワークに接続する

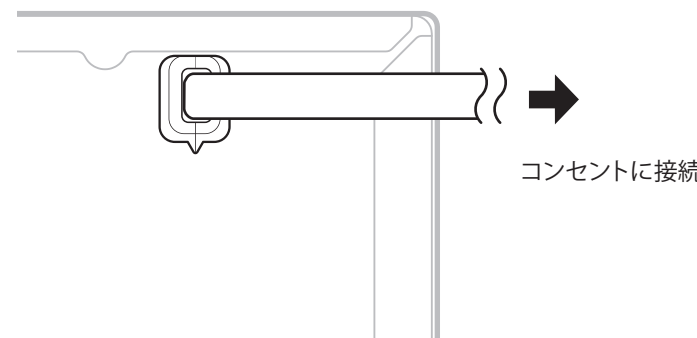
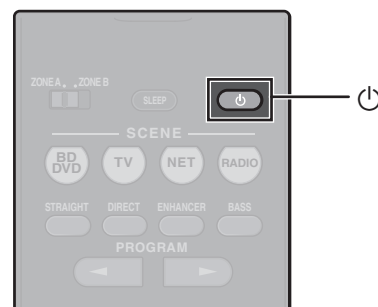
お使いのネットワーク環境に合わせて、**a** 有線ネットワーク、または **b** 無線ネットワークに接続します。

a 有線ネットワーク**b** 無線ネットワーク

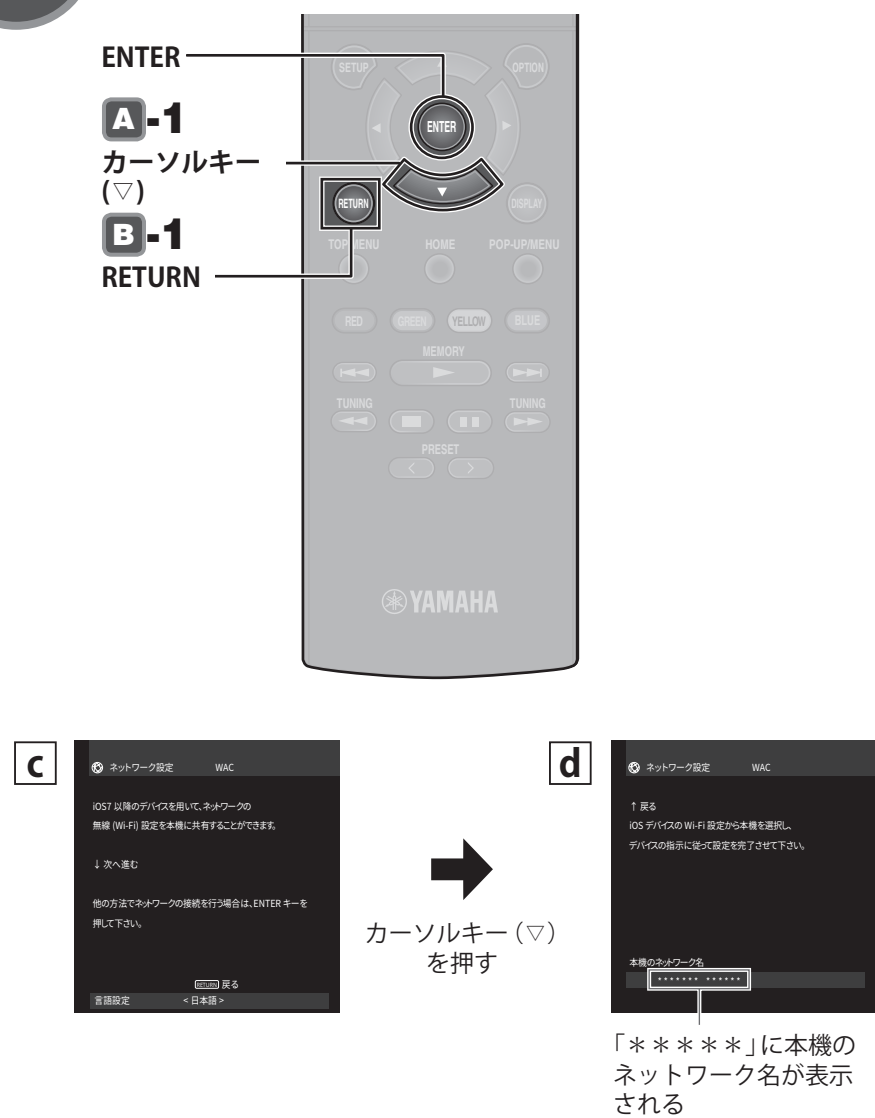
無線アンテナを立てます。
(無線ルーター (アクセスポイント) への接続は、手順 **7** で行います。)

! 無線アンテナに極端な力を加えないでください。破損するおそれがあります。

6 電源コードを接続し、本機の電源を入れる

**1** 電源 (レシーバー電源) キーで本機の電源を入れる。**2** テレビの電源を入れ、テレビ側の入力を本機 (HDMI OUT 端子) からの映像に切り替える。

7 無線ネットワークに接続する



- ・本機とルーターをネットワークケーブルで接続している場合は **(5-a)**、手順 **8** に進んでください。
- ・以下の方法以外でも、MusicCast CONTROLLERアプリを使って簡単にネットワーク設定ができます。詳しくは、別冊の「MusicCast セットアップガイド」をご覧ください。

ご購入後はじめて本機の電源を入れると、ネットワーク設定画面（イラスト **c**）がテレビに表示されます。この画面が表示されるまで数十秒かかることがあります。

（画面に表示されているWACは、Wireless Accessory Configurationの略です。）

この画面が表示されない場合は、設定メニューから無線ネットワークを設定してください。詳しくは、取扱説明書の「ネットワークに接続する（無線接続）」をご覧ください。




ここでは、以下の接続方法を説明しています。

- ・ iOS デバイスを使って無線ネットワークに接続するには **A** の方法をお試しください。
- ・ WPS 対応の無線ルーター (アクセスポイント) に接続するには **B** の方法をお試しください。
- ・ **A B** 以外の方法で無線ネットワークに接続する場合は ENTER キーを押し、画面の案内に従ってください。

A iOS デバイスの設定を共有する


お手持ちのiOS デバイス (iPhone/iPad/iPod touch) *のネットワーク設定を本機に適用して、簡単に接続することができます。
*iOS7以降を搭載したiOSデバイスが必要です。

設定を始める前に、お使いのiOS デバイスが無線ルーター (アクセスポイント) に接続されていることを確認してください。

- 1 ネットワーク設定画面（イラスト ）がテレビに表示されたらカーソルキー（）を押し、本機のネットワーク名が表示されていることを確認する（イラスト ）。
- 2 iOS デバイスの Wi-Fi 画面で本機を AirPlay スピーカーに設定し、「次へ」をタップする。
以降は、iOS デバイスの画面の案内に従って操作します。

B WPS ボタンを使って設定する

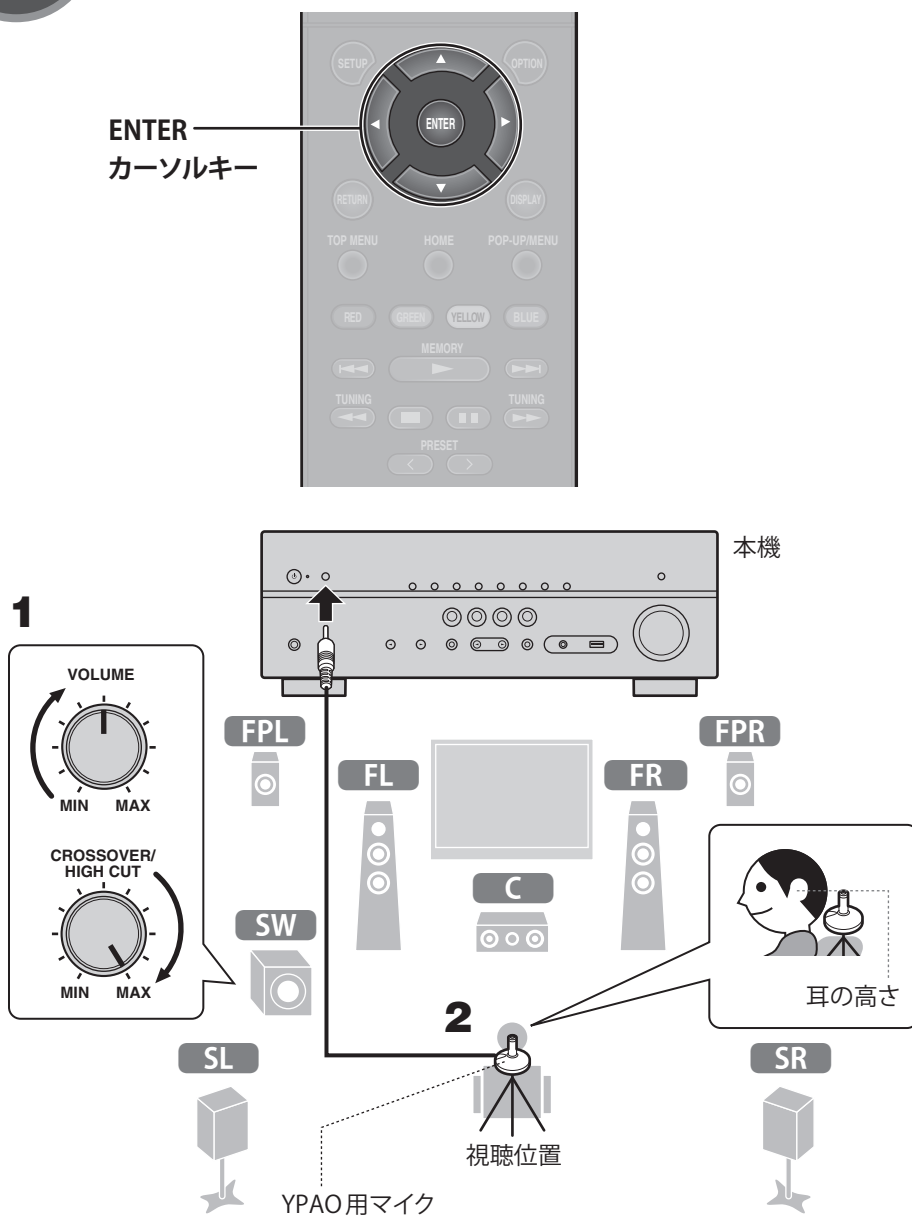
無線ルーター（アクセスポイント）のWPS ボタンを押すだけで、簡単に接続することができます。

- 1 ネットワーク設定画面（イラスト ）がテレビに表示されたら RETURN キーを押す。
- 2 本体前面の INFO（WPS）キーを 3 秒間押し続ける。
前面ディスプレイに「Press WPS button on Access Point」と表示されます。
- 3 無線ルーター（アクセスポイント）の WPS ボタンを押す。
接続が完了すると、前面ディスプレイに「Completed」と表示されます。



「Not connected」と表示された場合は、手順 1 からやり直すか、別の接続方法をお試ください。

8 スピーカー設定を自動で調整する(YPAO)

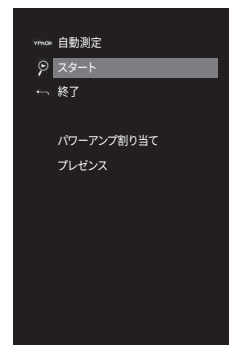



付属のYPAO用マイクを使って、スピーカーの接続と視聴位置との距離を検出し、音量バランスや音色などのスピーカー設定を自動で調整します (YPAO : Yamaha Parametric room Acoustic Optimizer)。

YPAO使用時は次のことにご注意ください。

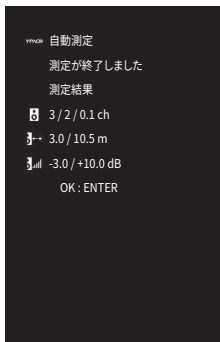
- ・テレビやスピーカーの接続が終わってからYPAOを実行してください。
- ・測定中は大きな音が出力されます。小さなお子様がいらっしゃる場合は十分に配慮ください。
- ・測定中は音量を調節できません。
- ・測定中は部屋を静かに保ってください。
- ・測定中は部屋の後方の隅にとどまり、スピーカーとYPAO用マイクの間を遮らないようにしてください。
- ・ヘッドホンは接続しないでください。

- 1 サブwooferの電源を入れ、音量を半分に調節する。
クロスオーバー周波数を調節できる場合は最大にする。
- 2 付属の YPAO 用マイクを視聴位置に置き、前面の
YPAO MIC 端子に接続する。
テレビに次の画面が表示されます。



 YPAO用マイクを視聴位置(耳の高さ)に置きます。三脚などをマイクスタンドとしてお使いください。三脚のネジを使ってマイクを固定できます。

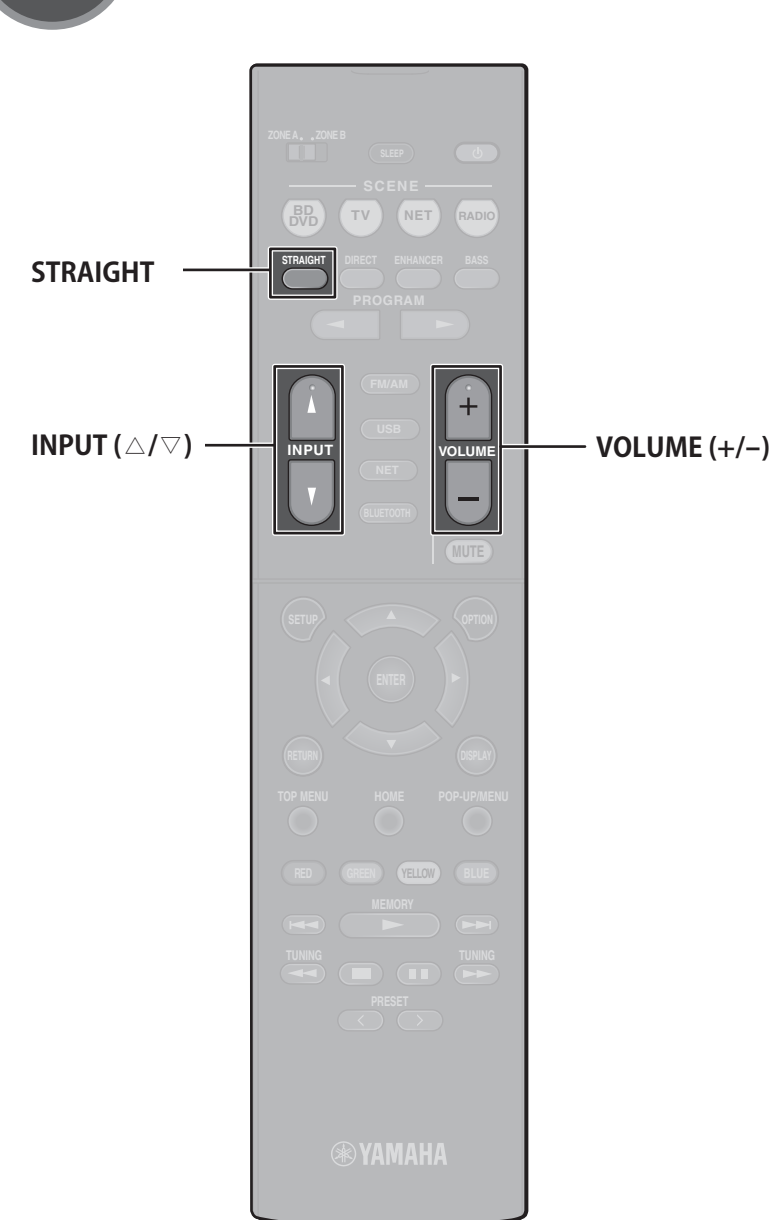
- 3 ENTER キーを押す。**
- 10 秒後に測定が始まります。所要時間は約 3 分です。
測定が終わると、テレビに次の画面が表示されます。



- !**
- ・ エラーメッセージ (E-1 など) や警告メッセージ (W-2 など) が表示された場合は取扱説明書「スピーカー設定を自動で調整する (YPAO)」の「エラーメッセージ」または「警告メッセージ」をご覧ください。
- 4** 測定結果を確認し、ENTER キーを押す。
 - 5** カーソルキー (◀/▶) で「保存」を選び、ENTER キーを押す。
 - 6** YPAO 用マイクを本機から取り外す。

これでスピーカー設定は完了です。

9 BD/DVDを再生する



実際にBD/DVDを再生してみます。
サラウンド感を体感するために、マルチチャンネル音声 (5.1ch
以上) が収録されているディスクの再生をおすすめします。

- 1 **BD/DVD レコーダー**の電源を入れる。
- 2 **INPUT (△/▽)** キーを繰り返し押しして、本機の入力を「**HDMI1**」に切り替える。
接続した機器によっては、「BD Player」などのように名称が表示されます。

- 3 **BD/DVD レコーダー**で **BD/DVD** を再生する。
- 4 **STRAIGHT** キーを繰り返し押しして「**STRAIGHT**」を選ぶ。

「**STRAIGHT**」(ストレートデコード) を選ぶと、ディスクに収録されている各チャンネルの音声各スピーカーからそのまま出力されます。本機の音場効果はかかりません。
- 5 **VOLUME** キーで音量を調節する。

これで基本的なスピーカースystemを設置して、本機でBD/DVDのサラウンド音を再生するまでの手順は完了です。



フロントスピーカーからしか音が出ない場合や、音の出ないスピーカーがある場合は、「取扱説明書」の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

基本的な操作

入力選択と同時に、あらかじめ登録した内容をワンタッチで選べます(シーン機能)。
購入時の各SCENEキーの入力と音場プログラムは以下のように登録されています。

SCENEキー	入力	音場プログラム
	HDMI 1	Sci-Fi
	AUDIO 1	STRAIGHT
	NET RADIO	7ch Stereo
	TUNER	7ch Stereo

本機には、さまざまな音場プログラムやサウンドデコーダーが備わっています。視聴する内容に応じて、好みのサウンドを選べます。

STRAIGHT：音場効果をかけずに、オリジナルチャンネルの音声をお楽しみいただけます。

DIRECT：最低限再生に必要な機能を除き、各種の回路（前面ディスプレイなど）が停止されます。これによりノイズの混入を防ぎ、原音により忠実な音質で再生できます。

ENHANCER：BLUETOOTH機器やUSB機器などの圧縮音源に音の深みと広がりを加えます。

BASS：より豊かな低音をお楽しみいただけます。

PROGRAM (◀/▶) : 映画、音楽に適した音場プログラムや、ステレオ再生を選びます。

本機の電源を入／切(スタンバイ)する

音量を調節する

消音する

入力を選ぶ